

クイックフィット／ファインチューニング

対象製品： シナジーiQ、シナジー製品シリーズ

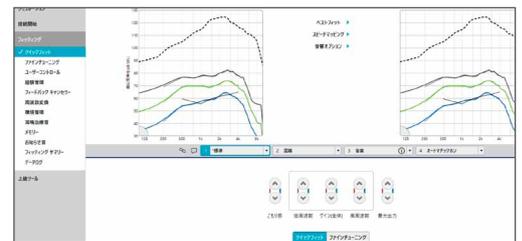
Inspire Xを起動し、補聴器を接続します。詳細は、QuickTIPSシリーズの各製品の初回フィッティング手順をご参照下さい。

クイックフィット

クイックフィットを選択すると、大まかな音質調整をメモリーごとに行えます。

1. 左側ナビゲーションメニューの**クイックフィット**を選択します。
2. 表示画面下部のパネルにある**こもり感**、**ゲイン（全体、低周波数、高周波数）**、または**最大出力**の調整コントロールを選択し、必要な周波数特性の調整を行います。
3. メモリー名の横の（▼）ドロップダウンリストをクリックして、調整するメモリーを選択します。
4. **ベストフィット**を選択し、処方されたターゲットと、必要に応じてデフォルト値の再計算を行います。
 - » **現在のメモリーのみベストフィット / 全てのメモリーをベストフィット**を選択し、周波数特性およびその他の全ての設定を、処方されたターゲットとデフォルト値に合わせて行います。
 - » **現在のメモリーをターゲットマッチ / 全てのメモリーをターゲットマッチ**を選択し、処方されたターゲットに合わせて周波数特性を再計算します。
5. **スピーチマッピング**を変更すると、リアルタイムで入力、ゲイン、出力を表示し、特性を記録することができます。
6. **音響オプション**を選択すると、レシーバ、イヤピース、耳栓の種類やイヤーマールドのベントサイズが変更でき、変更に応じて周波数特性が再計算されます。

注意：音響オプションを変更すると、測定したフィードバックキャンセラーが消去されます。新しい音響オプションでの再測定を推奨します。

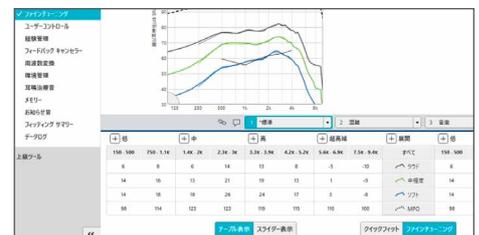


クイックフィット

ファインチューニング

ファインチューニングによって、周波数特性の詳細なフィッティング調整をチャンネル、入力レベル、メモリーごとに行うことができます。

1. 左側ナビゲーションメニュー、またはクイックフィット画面の下部にある**ファインチューニング**を選択します。
2. **テーブル表示**または**スライダー表示**を選び、希望の調整画面を選択します。
3. **低**、**中**、**高**、および/または**超高域**（使用可の場合）の周波数範囲を各々で広げるには、「+」をクリックします。
4. 調整するチャンネルと入力レベルを選択し、**上昇（∧）**または**下降（∨）**の矢印マークをクリックして調整します。
5. MPOブーストを加える場合は、スライダー表示画面の**MPOブースト**を選択します。これによって高度から重度の難聴者のために、チャンネルごとに1dB～5dBの追加ゲインが適用されます。



ファインチューニング



MPOブースト